

映画『みんなの学校』

明るい社会づくり上映会

大空は
明日へつづく

みんなの学校

出演：大空小学校のみんな

監督：真鍋俊永 ナレーション：豊田康雄 企画：迫川緑 プロデューサー：中尾雅彦 加藤康治 兼井孝之
撮影：大窪秋弘 撮影助手：堀貴人 編集：北山晃 編集協力：秦岳志 整音：中嶋泰成 音響効果：萩原隆之 題字：谷篤史
製作：関西テレビ放送 配給：東風

2014年 | 日本 | 106分 | BD・DCP | ドキュメンタリー © 関西テレビ放送

minna-movie.com



不登校も特別支援学級もない 同じ教室で一緒に学ぶ
ふつうの公立小学校の みんなが笑顔になる挑戦

文部科学省特別選定

日時：平成28年3月21日(月・祝) 10:00/13:00(午後のみ日本語字幕あり)

場所：ぎふメディアコスモス みんなのホール

入場料：無料 ※当日、上映費用のご協力をお願いしております。(一口500円)

主催：NPO 岐阜市明るい社会づくり運動協議会

後援：岐阜市、岐阜市教育委員会、岐阜市社会福祉協議会、岐阜新聞・ぎふチャン

みんながつくる みんなの学校



すべての子供に居場所がある学校を作りたい。

大空小学校がめざすのは、「不登校ゼロ」。ここでは、特別支援教育の対象となる発達障害がある子も、自分の気持ちをうまくコントロールできない子も、みんな同じ教室で学びます。ふつうの公立小学校ですが、開校から6年間、児童と教職員だけでなく、保護者や地域の人もいっしょになって、誰もが通い続けることができる学校を作りあげてきました。

すぐに教室を飛び出してしまう子も、つい友達に暴力をふるってしまう子も、みんなで見守ります。あるとき、「あの子が行くなら大空には行きたくない」と噂される子が入学しました。「じゃあ、そんな子はどこへ行くの？ そんな子が安心して来られるのが地域の学校のはず」と木村泰子校長。やがて彼は、この学び舎で居場所を見つけ、春には卒業式を迎えます。いまでは、他の学校へ通えなくなった子が次々と大空小学校に転校してくるようになりました。

みんながつくる みんなの街 一人ひとりが一市民



学校が変われば、地域が変わる。そして、社会が変わっていく。



このとりくみは、支援が必要な児童のためだけのものではありません。経験の浅い先生をベテランの先生たちが見守る。子供たちのどんな状態も、それぞれの個性だと捉える。そのことが、周りの子供たちはもちろん、地域にとっても「自分とは違う隣人」が抱える問題を一人ひとり思いやる力を培っています。

映画は、日々生まれかわるように育っていく子供たちの奇跡の瞬間、ともに歩む教職員や保護者たちの苦悩、戸惑い、よここび……。そのすべてを絶妙な近さから、ありのままに映していきます。そもそも学びとは何でしょう？ そして、あるべき公教育の姿とは？ 大空小学校には、そのヒントが溢れています。みなさんも、映画館で「学校参観」してみませんか。

平成25年度(第68回)文化庁芸術祭大賞 受賞理由

全ての子供に居場所がある学校作りを目指す大阪市立南住吉大空小学校の取組を、長期にわたり丁寧に追いつけた教育ドキュメント。他の地域では厄介者扱いされていた転校生が、教師と同級生、そして地域が包み込むことで、素直で心優しい子供に成長していく姿は、見ている者の心を熱くする。大空小学校の試みは、上からの教育改革とは一線を画す、現場からの教育改革でもある。



みんなの学校 minna-movie.com

NPO 岐阜市明るい社会づくり運動協議会は、「誰もが心豊かに、安心して暮らせる社会」をつくることを目的として活動しています。今回の上映会におきましても、障害がある人ない人に関わらず、地域住民、一人ひとりが尊重され互いに支えあう社会づくりをすすめていきたいと存じます。

みなさまのご参加をおまちしております。

■問い合わせ先；NPO 岐阜市明るい社会づくり運動協議会 事務局

Tel/ 058-246-0853・090-6073-6363 Mail/ g.meisha@canvas.ocn.ne.jp